

うとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうか、まず腰をすえて考えてみないだろうか。

32 もしできないと分かれば、敵がまだ遠方にいる間に使節を送って、和を求めよう。33 だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだれ一人としてわたしの弟子ではありえない。」

34 「確かに塩は良いものだ。だが、塩も塩気がなくなれば、その塩は何によって味が付けられようか。35 畑にも肥料にも、役立たず、外に投げ捨てられるだけだ。聞く耳のある者は聞きなさい。」

賛美 511 「光と闇とが」

Once to every man and nation
詞：James R. Lowell, 1819-1891
TON-Y-BOTEL
曲：Thomas J. Williams, 1869-1944



1 ひかりとやみとがたたかうこの世、
2 ほまれとさかえをうけるのはだれ、
3 殉教者のほのおをこの身にうけて、
4 この世のちからはいきおいつよく、



せいぎとふぎとがあらそうところ。
えいえんのかんむりをうけるのはだれ。
血にそむわが主のあしあどどり
しんりのひかりをおおうときにも



いまこそわれらのけつだんとき、
あくまのゆうわくはげしいときも
くなんとしれんのけわしいみちも
われらのめあてはえいえんのみくに、



ためらいひるむな、くいをこすな。
しんりにたつならうごかされない。
十字架をおいつつひたすらすすめ。
しょうりをえるまでかみはみちびく。

- | | |
|--|--|
| 1 光と闇とが 戦うこの世、
正義と不義とが 争うところ。
今こそわれらの決断の時、
ためらいひるむな、悔いを残すな。 | 3 殉教者の炎を この身に受けて、
血に染むわが主の 足跡たどり
苦難と試練の 険しい道も
十字架負いつつ ひたすら進め。 |
| 2 誉れと栄を 受けるのは誰、
永遠の冠を 受けるのは誰。
悪魔の誘惑 激しい時も
真理に立つなら 動かされない。 | 4 この世の力は いきおい強く
真理の光を おおつ時にも
われらの目当ては 永遠のみ国、
勝利を得るまで 神は尊く。 |

説教 「イエスさまと共に十字架を背負う」

賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
詞：Horatius Bonar, 1808-1889
KINGSFOLD
曲：イギリス伝統旋律



1 「おもにおうもの、まようものよ、
2 「かわいているもの、つかれたもの、
3 「この世のつとめになやむものよ、



だれでもきなさい、ためらわずに。
だれでもきなさい、ためらわずに。
だれでもきなさい、ためらわずに。



まねきにしたいわたしはゆく。
いのちの主イエスにわたしはゆく。
ひかりの主イエスにわたしはゆく。



なぐさめとへいわうけるため。
生きたそのみずをのみほすため。
おわりまでともにあゆむため。

- | | |
|---|---|
| 1 「重荷を負う者、迷う者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに」。
招きに従い 私は行く。
慰めと平和 受けるために。 | 2 「渴いている者、疲れた者よ
誰でも来なさい、ためらわずに」。
いのちの主イエスに 私は行く。
生きたその水を 飲みほすため。 |
|---|---|

- 3 「この世の務めに、悩む者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに」。
光の主イエスに 私は行く。
終わりまで共に 歩むために。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「全世界の慰め主なるキリスト」 (J.S.バッハ)

司式 大代 恵
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。